

# 新庁舎 Vol.2 建設だより

財政課 ☎ 0738-23-5533



## 地盤改良が終わり、 基礎工事を実施中

ホームページで建設現場の  
定点カメラ映像を公開



### ■ 工事進捗状況

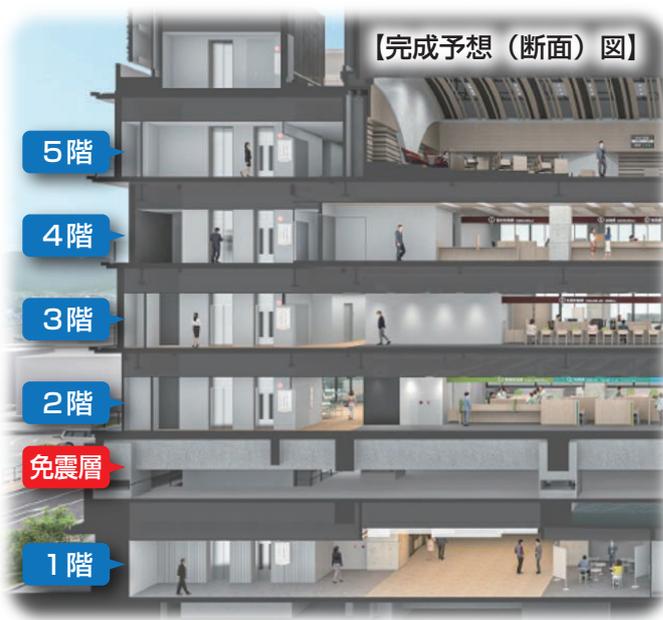
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地盤改良・杭工事等	基礎躯体・地上躯体工事 <b>今ここ!</b>	内部・外部 仕上工事	既存庁舎 解体工事
			令和6年1月 オープン予定

地盤改良工事が2月末に完了し、地質調査を行った結果、建物敷地の液状化の恐れが解消されたことを確認しました。5月からの杭工事では、深さ約22メートルの支持地盤に達する杭を44本施工しました。7月からは基礎躯体工事を行っているところです。

### 中間層免震構造を採用

新庁舎では地震・津波対策として、1階と2階の間の免震層内の柱に、ゴムを用いた免震装置を設置します。フロア配置としては、1階は会議室や倉庫等のフロアとし、また、津波浸水時でも業務継続が可能のように、免震層より上の2階から4階に主要な市民サービス窓口や執務室を配置し、5階は議会を中心としたフロアとします。

現地は、南海トラフ巨大地震時の津波では3.5メートル程度の浸水が想定されていますが、免震層の床を5.2メートルの高さとし、免震装置や2階から上の庁舎機能には重大な被害が生じないように設計しています。



### 防災デッキ（仮称）を設置

津波が発生する恐れがある場合、従来の福祉センターや津波避難タワー等に加え、新庁舎も緊急避難場所としての役割を發揮します。

そのため、新庁舎には屋外からも2階へ直接アプローチできる外付け階段（防災デッキ）を設置します。

